



学校教育目標： **学び合い、かかわり合い、ともに育つ子ども**

《めざす学校の姿》

- 学ぶことが楽しい学校
- 家庭、地域と協働する学校

《めざす子どもの姿》

- と 友だちとともに育つ子ども
- き きまりを守る子ども
- わ わかるまで学び合う子ども
- に 苦手なことにもチャレンジする子ども
- し 心身ともに健やかな子ども



I 確かな学力の育成

1 基礎学力の定着と学力の向上

- ① 指導体制（チームティーチング、少人数授業等）や指導方法（補充的な学習、発展的な学習、反復学習等）を工夫し、基礎学力の定着および学力の向上を図る。
- ② 「ぐんぐんタイム」や家庭学習等、基礎学力を定着させるための取り組みを計画的、系統的に行う。
- ③ 全国学力・学習状況調査や到達度検査等の結果から、本校児童の強み・弱みを明らかにし、指導方法の改善を図る。

2 授業づくりの工夫

- ① 子ども同士の協働的な学習形態を取り入れ、主体的な「学び合い」のある授業展開をすすめる。
- ② 学習課題や学習形態を工夫し、既習内容や生活経験を活かした課題解決の授業を充実させる。
- ③ 各学年の教育目標に基づき、吉田山をはじめとする地域の環境を活かした体験活動を展開する。



3 読書活動の充実

- ① 読書まつりや読書週間、1分間スピーチ、読み聞かせ等、図書館活動の充実を図る。
- ② 調べ学習への図書の利用やブックトーク等、図書館司書、図書館ボランティアと連携した活動を充実させる。

II 豊かな人間性の育成

1 道徳教育、人権教育の充実

- ① 規範意識の向上に努め、道徳的実践力を育てる道徳教育を推進する。
- ② 自他の人権を尊重し人権問題を解決する行動力を育てる人権教育を推進する。
- ③ 多様な生き方を認め合い、仲間とともに高まり合う「なかまづくり」を推進する。



2 教育相談、特別支援教育の充実

- ① 校内体制の一元化を図り、不登校、いじめ、虐待、発達上の課題等に迅速に対応できる体制を構築する。
- ② いじめ調査、Q.U調査、日常の観察や教育相談等を通して、児童の課題や悩み等の早期発見、早期対応に努める。
- ③ スクールカウンセラーや関係機関、保育園、幼稚園、中学校等と連携しながら、迅速で組織的な取り組みをすすめる。

3 児童が主体的に取り組む活動の推進

- ① 児童が主体的に取り組む児童会活動や学年、学級活動を推進し、個の成長や集団の高まりを促進する。
- ② あいさつや清掃活動の具体的な目標を設定し、心地よい学校づくりに主体的に参画する生活態度を育てる。

III 健康な心と体の育成

1 健康教育、食育の充実とからだづくり、全校遊びの推進

- ① 体力の向上をめざし、児童が主体的に参加できる全校遊びやからだづくり活動を行う。
- ② 養護教諭、栄養教諭、担任が連携し、保健指導、食育の充実を図る。



2 安全教育、防災教育の充実

- ① 日常生活に生きる安全教育、防災教育を実施する。
- ② 月一度の安全点検とともに日常的な安全管理、危機管理に注意し、事故防止に努める。

IV 保護者・地域との連携・協働

- ① 家庭との信頼関係を構築し、互いに連携しながら児童の健やかな成長をめざす。
- ② 図書館ボランティアや学習支援ボランティア等を活用したきめ細かな教育活動を展開する。
- ③ 学校だよりや学校HP、学年通信、学級通信等を通じて学校の情報発信に努める。



V 教職員の資質向上と健康管理

- ① 日々の教育活動が研修の場であると捉え、自己研鑽に努めるとともに、教職員相互による研修の充実を図る。
- ② 段差のない教育をめざし、常磐中学校区における人権・同和研修や学びの一体化研修を充実させる。
- ③ ワーク・ライフ・バランスを大切に、心身の健康管理に努め、笑顔で児童の指導にあたる。

